

令和 8 年度

業務番号.....8公調 第 81 号

.....岩崎漁港計画検討.....業務委託

特記仕様書

電子縦覧

西津軽 町 深浦 大字 岩崎 地先外
.....郡 村

西北農林水産事務所
鰺ヶ沢水産事務所

第 1 章 総 則

第 1 条 共通仕様書等の適用

本業務の施行にあたっては、青森県県土整備部制定「設計業務等共通仕様書」、国土交通省港湾局制定「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、水産庁漁港漁場整備部制定「漁港漁場設計・測量・調査等業務共通仕様書」によるほか、特記仕様書に基づき実施しなければならない。

共通仕様書と特記仕様書が一致しない条項は、特記仕様書が優先する。

第 2 条 委託業務日数又は履行期限

1. 業務日数 230 日

第 3 条 照 査 技 術 者

本業務については照査技術者を配置すること。

第 4 条 打ち合わせ等

設計業務着手時、設計業務の主要な区切り及び設計業務完了時において行う打ち合わせは、3回とする。設計業務の主要な区切りは、漂砂解析後とする。

なお、設計業務着手時及び設計業務完了時の打ち合わせには、管理技術者及び照査技術者が立ち合うものとする。

第 5 条 設 計 業 務 計 画

本業務における業務計画書は、第 1 回打ち合わせ後、速やかに提出するものとする。

第 6 条 資 料 の 貸 与

貸与する図書及びその他の関係書類は下記のとおりとする。

- ① 港勢調査資料...1 式
- ② 過年度岩崎漁港（沢辺地区）地質調査業務委託成果...1 式
- ③ 過年度岩崎漁港（岩崎地区）漂砂解析業務委託成果...1 式
- ④ 業務遂行上必要な発注者の所有する資料（別途協議）...

第 7 条 履 行 報 告

受注者は、契約書第 15 条の規定に基づき、履行状況を別に定める様式に基づき作成し、調査職員に提出するものとする。

第 8 条 「参考資料」

特記仕様書の外に提示する「参考資料」は、指名参加業者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

第 2 章 業 務 内 容

第 1 条 業務目的

岩崎漁港は、岩崎地区及び沢辺地区の 2 地区からなる県管理の第 2 種漁港であり、日本海南圏域の生産拠点漁港に位置付けられており、地域の水産業において重要な役割を担っている。

重要な役割を担う本漁港の役割を継続的に果たすため、本漁港の抱える課題の抽出、整理、計画の検討及び漂砂解析、静穏度解析シミュレーション等を行い、事業計画の妥当性を検証するものである。

第 2 条 業務内容

(1) 漁港計画調査（岩崎漁港（沢辺地区））

1) 計画準備

- ・業務を行うに当たって事前に業務の目的および内容を把握し、業務の手順および遂行に必要な事項を企画立案する。

2) 課題の抽出整理

- ・現況分析およびヒアリング調査等に基づき項目毎に問題点を抽出、整理し課題の提案を行う。

3) 計画の検討

- ・抽出された課題を解決するための施設整備内容等を具体策の検討、提案を行う。

(2) 利活用実態調査（岩崎漁港（岩崎地区））

1) 現況特定等の把握

- ・漁港管理者（青森県）、漁業関係団体（新深浦町漁協）等から、岩崎漁港（岩崎地区）を利用する漁船の規格、係船場所等が把握できる既存資料及び参考文献、漁業活動の実態がわかる資料等を収集整理し、本漁港の利用実態を分析する。

2) データの推計

- ・これまでの港勢調査をもとに利用漁船等の現況、将来の係船岸充足率、安全係船岸充足率を算定し、平面図にとりまとめる。
- ・各算定ファイルは、別途、提供する。

(3) 漂砂解析（岩崎漁港（岩崎地区））

1) 計画準備

- ・業務を行うにあたり、事前に業務の目的および内容を把握し、業務の手順および遂行に必要な事項を計画立案の上、業務計画書として取りまとめる。

2) 資料収集整理

- ・漂砂解析に必要な資料（深浅測量・地質資料等）を整理・設定する。

- 3) 漂砂特性の把握
 - ・漂砂特性を検討する。
 - 4) モデルの設定
 - ・漂砂特性を再現できる漂砂モデルを設定する。
 - 5) 条件の設定
 - ・必要な波高、周期、波向、土質、推進等の条件を設定する。
 - 5) 計算の実行
 - ・解析条件に基づき、計 2 ケースの港形でプログラムを実行する。
 - 5) 計算結果の整理
 - ・実行した 2 ケースの結果を図表にまとめ、整理を行う。
 - 6) 結果の検討
 - ・計算結果の妥当性および漂砂現象に対する評価を行う。
 - 8) 照査
 - ・業務全体の内容について照査を行う。
- (4) 静穏度解析（岩崎漁港（岩崎地区））
- 1) 計画準備
 - ・業務を行うにあたり、事前に業務の目的および内容を把握し、業務の手順および遂行に必要な事項を企画立案の上、業務計画書として取りまとめる。
 - 2) 条件の設定
 - ・静穏度解析に必要な設計条件（波高、周期、波向など）を整理・設定する。
 - ・対象波は、出漁限界波及び 30 年確率波とする。
 - 3) データの作成
 - ・整備後の港形に関する水深、港形、反射率などのデータを整理・作成する。
 - 4) 計算の実行
 - ・作成した港形データを用いて、出漁限界波及び 30 年確率波の計 2 ケースで解析プログラムを実行する。
 - 5) 計算結果の整理
 - ・実行した 2 ケースの結果を図表にまとめ、整理を行う。
 - 6) 結果の検討
 - ・計算結果の妥当性および港内の静穏度評価を実施する。
 - 7) 報告書作成
 - ・業務の成果として業務報告書及び業務概要書を作成し、取りまとめる。

8) 照査

- ・業務全体の内容について照査を行う。

第3条 遠隔臨場の活用

本業務の実施にあたり発注者による現地立会が必要な場合、遠隔臨場により立合等を実施することができる。

遠隔臨場の実施方法等は、「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領」（青森県県土整備部）による。

なお、要領中の「土木工事共通仕様書」等の基準類は、本業務において適用する共通仕様書等に読み替えるものとする。（掲載ページ：<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/enkakurinjo.html>）

第4条 そ の 他

- － 1) 完成検査の予定については、実施予定の前月 15 日までに予定日を調査職員に報告のこと。
- － 2) 色彩等の景観の検討については、青森県景観条例に基づき、「青森県公共事業景観形成基準」及び「青森県景観色彩ガイドプラン」を遵守しなければならない。
- － 3) 防犯に配慮した環境の検討については、「防犯に配慮した設計ガイドライン」を遵守しなければならない。
- － 4) 「青森県リサイクル製品の認定及び使用の推進に関する条例」（青森県リサイクル製品認定制度）第 9 条第 1 項の規定により制定された、「青森県認定リサイクル製品優先使用指針」を遵守しなければならない。
- － 5) 受注者は、受注者及び下請負者等に対して暴力団員等による不当介入があった場合は、発注者及び警察へ報告・通報しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。
- － 6) 本業務は、ウィークリースタンスの実施対策業務である。実施内容については下記のとおりとし、受発注者相互に協力し取り組むものとする。
 - ①昼休みや 16 時以降開始の打合せは行わない
 - ②休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日にしない
 - ③ノー残業デーは勤務時間外の依頼をしない
 - ④休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない
 - ⑤作業内容に見合った作業期間を確保する
 - ⑥水曜日及び金曜日は受注者が定時に帰宅できるよう心掛ける
 - ⑦受注者に対し定時間際・定時後の依頼を行わない
 - ⑧問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する
- － 7) 本業務では、情報共有システムを利用することを原則とする。

なお、システムの利用に適さない場合は、調査職員との協議によりシステム利用の対象外とすることができる。

情報共有システム利用基準＜漁港漁場整備課 HP＞

http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/gyoko/gyoko_siyousyo.html

第 3 章 成 果 品

第 1 条 成果品の提出

成果品は共通仕様書で定める他、次のものを提出すること。

1. 報告書

(1) 電子媒体 (CD-ROM)1...部

(2) 紙媒体 (簡易なファイルにとじたもの、図面含む)1...部

設計業務等に関する提出書類一覧表

(1) 契約書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
契約担当者	業 務 工 程 表	契 約 後 14 日 以 内	1	3 条
契約担当者	管 理 技 術 者 通 知 書	契 約 後 遅 滞 な く	1	10 条
調査職員	業 務 履 行 報 告 書	毎月 1 回、調査職員の指定日	1	15 条
調査職員	完 成 届	業 務 を 完 了 し た と き	1	32 条
調査職員	業 務 成 果 引 渡 書	引 渡 の と き	1	32 条
調査職員	請 求 書	引 渡 の と き	1	33 条

(2) 契約書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
契約担当者	照 査 技 術 者 通 知 書	設計図書で定められている場合、 契約後遅滞なく	1	11 条
契約担当者	管理(照査)技術者変更通知書	変 更 の 都 度	1	10 条・11 条
調査職員	貸 与 品 借 用 書	貸 与 時	1	16 条
調査職員	貸 与 品 返 還 書	返 還 時	1	16 条
調査職員	履行期間の変更請求書	変更を必要とするとき	1	23 条
調査職員	部 分 使 用 同 意 書	発注者が部分使用を請求したとき	1	34 条
調査職員	指定部分に係る（又は、引渡部分に係る）業務完了報告書	設計図書に定められた期日	1	38 条

(3) 仕様書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査職員	業 務 計 画 書	契 約 締 結 後 14 日 以 内	1	1112 条
調査職員	業 務 打 合 簿	そ の 都 度	1	(契)2 条 (仕)1110 条他

(4) 仕様書に基づいて必要に応じて提出する書類

調査職員	担 当 技 術 者 届	担当技術者を定めた場合	1	1109 条
調査職員	担 当 技 術 者 変 更 届	そ の 都 度	1	1109 条
調査職員	照 査 報 告 書	業 務 完 了 後	1	1108 条
調査職員	身 分 証 明 書 交 付 願	必 要 な 時	1	1116 条
調査職員	事 故 報 告 書	事 故 が 発 生 し た と き	1	1132 条
調査職員	新 技 術 活 用 計 画	NETIS 登録技術の活用を希望する とき	1	1139 条
調査職員	活 用 効 果 調 査 票	業 務 完 了 後	1	1139 条
調査職員	生 産 性 向 上 提 案 書	後段階の設計において一層の生産 性向上の検討の余地が残されてい る場合	1	1209 条

数量総括表

業務名	岩崎漁港計画検討業務委託				業 種 項 目	港湾設計等業務 計画・開発・調査等業務	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
計画・開発・調査等業務		式		1			
漁港計画調査		式		1			
漁港計画調査		式		1			
計画準備	単純	式		1			
課題の抽出整理	一般	ケース		1			
計画の検討	一般	ケース		1			
利活用実態調査		式		1			
利活用実態調査		式		1			
現況特定等の把握	一般	ケース		1			
データの推計	一般	ケース		1			
設計業務		式		1			

数量総括表

業務名	岩崎漁港計画検討業務委託				業 種 項 目	港湾設計等業務 設計業務	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
漂砂解析		式		1			
漂砂解析		式		1			
計画準備	一般	業務		1			
資料収集整理	一般	項目		1			
漂砂特性の把握	一般	港		1			
モデルの設定	一般	港		1			
条件の設定	一般	港		1			
計算の実行	一般	ケース		2			
計算結果の整理	一般	港形		2			
結果の検討	一般	港形		2			
照査	一般	業務		1			

数量総括表

業務名	岩崎漁港計画検討業務委託				業 種 項 目	港湾設計等業務 設計業務	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
静穏度解析		式		1			
静穏度解析	一般	式		1			
計画準備	一般	業務		1			
条件の設定	一般	港		1			
データ作成	一般	港形		1			
計算の実行	一般	ケース		2			
計算結果の整理	一般	ケース		2			
結果の検討	一般	港		1			
報告書作成	一般	業務		1			
照査	一般	業務		1			
打合せ		式		1			

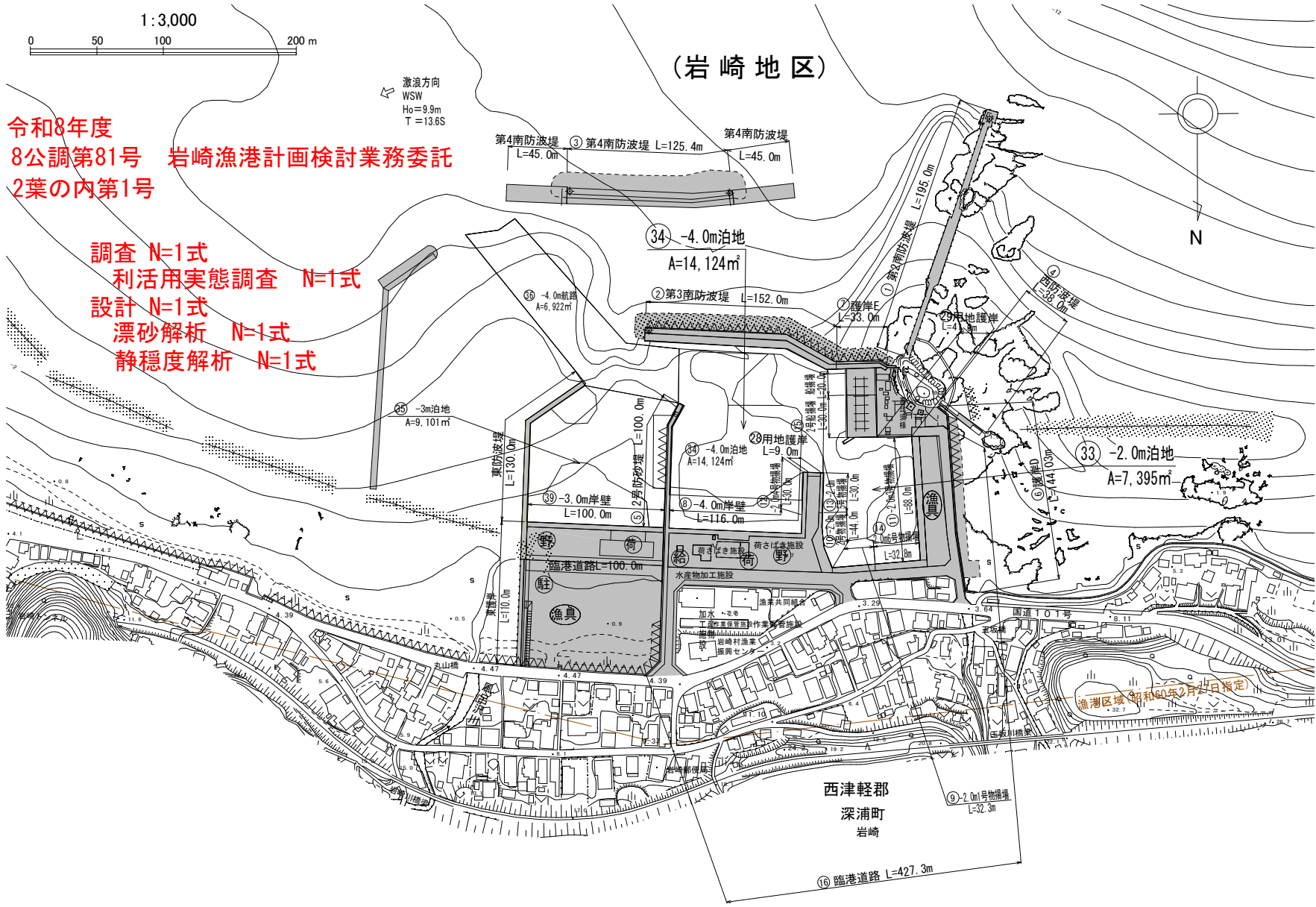
数量総括表

業務名	岩崎漁港計画検討業務委託				業 種 項 目	港湾設計等業務 設計業務	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
設計協議	事前、中間、最終	式		1			
直接経費		式		1			
直接経費		式		1			
事務用品費		式		1			
業務成果品費		式		1			
旅費		式		1			
直接原価（その他原価除く）		式		1			
その他原価		式		1			
一般管理費等		式		1			
業務価格		式		1			

県単独事業

岩崎漁港(岩崎地区)事業計画平面図

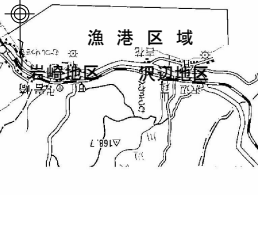
漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施行場所
1220010 (S.26.11.14指定)	第2種	本土	青森県	青森県	西津軽郡深浦町岩崎大字岩崎



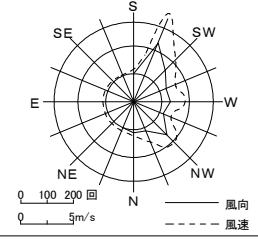
位置図



漁港区域図



風向・風速図



潮位図

H. H. W. L	+1.627
H. W. L	+0.440
M. S. L	+0.189
D. L	±0.000
L. W. L	-0.087
T. P	-0.104

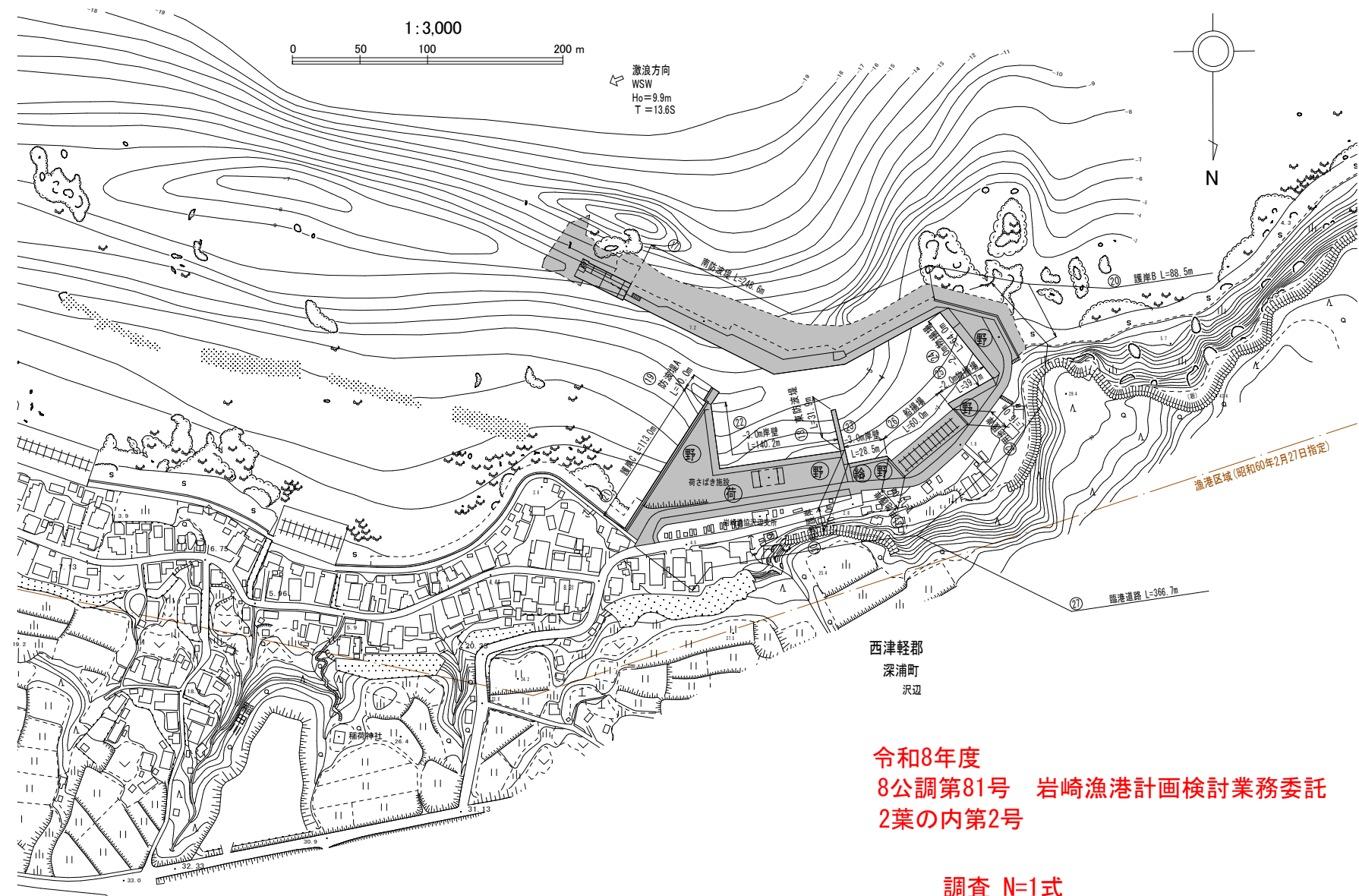
(H30見直し)

凡例

県単独事業

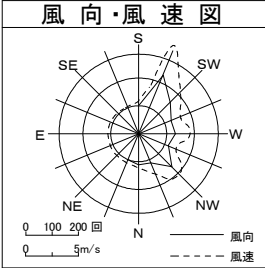
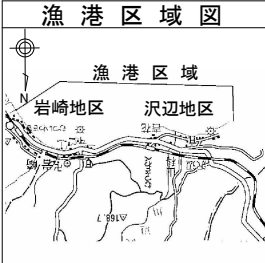
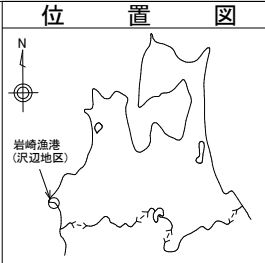
岩崎漁港(沢辺地区)事業計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施行場所
1220010 (S.26.11.14指定)	第2種	本土	青森県	青森県	西津軽郡深浦町岩崎大字沢辺



令和8年度
8公調第81号 岩崎漁港計画検討業務委託
2葉の内第2号

調査 N=1式
漁港計画調査 N=1式



潮位図	
H. H. W. L.	+1.627
H. W. L.	+0.440
M. S. L.	+0.189
D. L.	±0.000
L. W. L.	-0.087
T. P.	-0.104
(H30見直し)	

凡例	